

議会だより

CONTENTS

2021.5.1 vol.70



- 2 ... 3月定例会 ここに注目!
- 4 ... 総務厚生委員会レポート
- 6 ... 産業建設文教委員会レポート
- 10 ... 1月臨時会・2月臨時会・3月定例会で審議された案件
- 12 ... 一般質問
- 18 ... 平戸のチカラ



田平町小手田免に移住された、大場^{つよし}さん、伊津子^{いっご}さん

とかいせん

No.70 2021.5.1 平戸市議会だより

編集・発行: 平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-9170 FAX22-3427 E-mail: gikakai@city.hirado.lg.jp



このコーナーでは、平戸市にU・Iターンし、地域で元気に頑張っている皆さんをご紹介します。

皆さんに喜ばれる そんなアイスクリーム店を目指したい

大場^{つよし} 勤さん(76歳)、伊津子^{いっご}さん(64歳)ご夫妻は、福岡県飯塚市から田平町小手田免に移住して来られました。田平町で第3の人生をスタートさせた元気なお二人を紹介します。



ご夫妻が営む『みるく畑』

●第2、第3の人生のスタート

60歳まで建設会社に携わり、サラリーマンとして働いていた勤さん。定年後、第2の人生として福岡県飯塚市で、伊津子さんとジェラート店をオープン。約60種類の商品を取り扱う人気店でした。飯塚市での店の経営は忙しく、お二人は、ご自身の年齢や体力のことを考え、14年間続けたジェラート店を知人に譲り、伊津子さん憧れの地、平戸へ移住を決意。令和2年8月に田平町でアイスクリームとカレーライスを中心に提供する店「みるく畑」をオープンさせ、第3の人生をスタートさせます。

●仕事への想い

「サラリーマン時代は、建設業ということもあり、土地交渉など住民の方から敬遠されたり、嫌がられることも多かった」と話す、勤さん。「定年後は、人に喜ばれるような仕事を選びたいとの思いで、飯塚市でジェラート店を始めました。ジェラートやアイスクリームは、小さい子どもさんからお年寄りまで幅広い方々から喜ばれ、笑顔を見せてくれる。とても幸せな仕事です」

移住先の田平町でも、同じように地域に喜ばれる仕事を続けたいと、アイスクリーム店をオープン。これまでの経験を生かした勤さんオリジナルの濃厚なアイスクリームは、トッピングも豊富で、早くも多くのお客さんに好評です。

●平戸市での生活

移住先は平戸市と決めていたという大場さんご夫妻。佐世保市育ちの伊津子さんのご両親は平戸市の方。現在も、ご姉妹や親せきが平戸市や佐世保市にお住まいとのこと。「子どもの頃から親しみのある平戸市に住みたかった。食べ物も新鮮で、山や海も近く自然豊か。以前の居住環境に比べ、空気が澄んで美味しい。肌にもとても良い。平戸の方は気さくな方が多く、友達になると親切に色々なことを教えてくれる。休日は、温泉や日帰り旅行を楽しんでいます」と伊津子さん。勤さんも「移住して、平戸市は地震をはじめ、自然災害のリスクも少ない土地ということを知った。人情味も厚く、安心して暮らせます」と話します。

●今後について

元気で仲の良い大場さんご夫妻。今後については、「店は始めたばかり。地域の方に愛される店にしたい。将来は、困っている方の助けになるような店にしたいという思いもある。例えば、災害時などに受け入れができるような、皆さんに役立つ店にできないかという夢もある。まずは、来られる方々に喜んでいただける場所を目指したい」と、勤さん。伊津子さんも、「皆さんに愛されるアイスクリームとカレーを届けていきたい」と、明るい笑顔で語っていただきました。



お店で人気のアイスクリームとカレーライス



自家製のアイスクリームづくりをする伊津子さん

広報特別委員会

委員長	池田 稔巳
副委員長	松尾 実
委員	井元 宏三
委員	近藤 芳人
委員	山崎 一洋
委員	山本 芳久

編集後記

サクラ咲く三月議会の終わる頃、いつもなら子ども達の卒業式や入学式に出席し、惜別の涙や新入生の緊張した姿に出会えるのだが、新型コロナウイルスの影響でそれも叶わない。どうか忍耐と挑戦する気持ちを忘れずに頑張ってもらいたい。

また、平戸市の役所や学校でも人事異動の時期でもある。異動希望の叶った人もあれば、「あー!」とため息もあるだろう。それでも「市民の為、子ども達の為に頑張る!」と誓ったあの日の思い出ししてもらいたい。

コロナ禍の中、みんなで支え合い平戸市を盛り上げていきましょう!

(池田 稔巳)

